平成１４年１月３０日
匿名（男性、高知県在住）

環境省および中央環境審議会により作成された新・生物多様性国家戦略骨子案を拝見させていただきました.

以下,「新・生物多様性国家戦略」について愚言申し上げます．どうぞ，浅学の身を忘れた地方に棲む住人の戯言と思召しください.

生物の多様性の現状と課題を把握し，保全のための理念と目標にグランドデザインを考えられること誠に結構なことだと存じます. 惜しむらくは, 取り扱いにおいて,「保護」,「保全」,「劣化」,「修復」,「回復」,「再生」の用語について明確な定義とこれらの関係を明らかにする必要があるのではないでしょうか．これは，生物の多様性を面的な側面から，時間を含めた奥行きを持たせるために（地域の維持管理のみならず教育のためにも）不可欠ではないかと存じます. もし, このことを吟味された上での表現でしたなら, 私の理解不足ですので却下してください.

生物多様性国家戦略を国際的な取り組みとして位置付けることは，国際社会の一員としての独立国家の責任であることはいうまでもありません. 施策の展開では,「保護」,「保全」,「劣化」,「修復」,「回復」,「再生」のそれぞれの構築されたプログラムが実行され, 互いに有機的に結びつき，その効果発揮されるものと拝察いたします．そこで，これらにぜひとも日本の伝統･文化の継承も考慮したプログラムにしていただきたく存じます. いうまでもなく日本の自然は，地球上でもっとも豊かで美しい空間を創っています．これは, 天然の多様性のみならず, 暮らす人々の生活の中から育まれてきたもので, 伝統・文化の中に多くの知恵が含まれています．このようなすばらしい自然環境は，世界に誇れるものです．合理性を追求するだけではなく無駄と思われる中にもすばらしい考え方が含まれているかもしれません.

さらに施策の展開の中に「教育・普及啓発」がありますが，ここにも次世代の教育のみならず，リーダーの育成（たとえば，グリーンキーパー，リバーキーパーといった）について猟師，漁師，農家の知恵などを生かし共生を目指していただきたく存じます．これは，多様な環境を考える上で，ともすれば学識経験者は一般化した知識による思考に走りがちですが，対象となる地域においては永くそこに住んでおられる方の知見が拠どころになることはいうまでもありません．どうぞ，地方に暮らす人々の考え方をくみ取り施策に反映させていただけるプログラムとなることを切望いたします．蛇足ながら，前段にもいえることですが，成功した事例の当てはめ，スケールアップやスケールダウンによる当てはめは，混乱を招くことが多いのが現状です.

取り留めのない戯言にお付き合いくださいましてありがとうございます.